



第 94 号(平成 29 年 11 月 2 日)

信州の山岳遭難現場と全国の登山者をつなぐ
特別隊員

島崎 三步 の「山岳通信」

この通信は次の方々に長野県の山岳地域で発生した遭難事例を原則的に 1 週間ごとにお伝えし、「安全登山」のための情報提供をしています。

- ◇お客様と接する登山用品店舗スタッフの方
- ◇インターネットの登山情報サイトを利用される登山者
- ◇長野県内の各地区山岳遭難防止対策協会

平成 29 年中の山岳遭難発生状況(平成 29 年 1 月 1 日～10 月 22 日)

BC(バックカントリー)は、登山行為を伴う「スキー(スノーボード)登山」と登山行為を伴わない「ゲレンデ外滑走」の総称。

区分	発生件数	死者	行方不明	負傷者	無事救出	遭難者計	内)外国人
平成 29 年	274	56	3	143	102	304	25
平成 28 年	256	41	4	142	98	285	15
前年同期比	18	15	-1	1	4	19	10
内)BC	22	1	1	9	16	27	10

山域別発生状況

区分	件数	件数比率	死者	行方不明	負傷者	無事救出	遭難者計	
北アルプス	槍穂高	58	21.2%	16	1	32	11	60
	後立山	58	21.2%	8	1	32	21	62
	その他	35	12.8%	4	1	22	11	38
計	151	55.1%	28	3	86	43	160	
中央アルプス	21	7.7%	5		10	7	22	
南アルプス	15	5.5%	5		7	3	15	
八ヶ岳連峰	27	9.9%	7		16	11	34	
その他の山岳	60	21.9%	11		24	38	73	
計	274		56	3	143	102	304	

態様別発生状況

区分	件数	件数比率	死者	行方不明	負傷者	無事救出	遭難者計
転・滑落	80	29.2%	25		60		85
転倒	71	25.9%			71		71
病気	26	9.5%	13			13	26
道迷い	50	18.2%				74	74
落石	7	2.6%	1		6		7
雪崩	5	1.8%	4		2		6
落雷		0.0%					0
疲労凍死傷	16	5.8%	3			13	16
不明・他	19	6.9%	10	3	4	2	19
計	274		56	3	143	102	304

男女別・年齢別比率

区分	男性					(人)	女性					(人)	男女計	
	死者	不明	負傷	無事	計	比率	死者	不明	負傷	無事	計	比率	人数	比率
19歳以下	1			3	4	49人 23.7%				1	1	16人 16.5%	5	65人 21.4%
20代	3		7	13	23				2	3	5		28	
30代	5		10	7	22		1		5	4	10		32	
40代	4		13	6	23	64人 30.9%	1		10	4	15	37人 38.1%	38	101人 33.2%
50代	10	2	21	8	41		1		15	6	22	44人 45.4%	63	
60代	15	1	16	14	46	94人 45.4%	1		19	5	25	44人 45.4%	71	138人 45.4%
70以上	12		17	19	48		2		8	9	19		67	
計	50	3	84	70	207		6	0	59	32	97		304	
比率	68.1%						31.9%							

日付	場所	年齢	性別	態様	死傷別	概要
10月18日	北アルプス 焼岳	25	男	転倒	負傷	下山中にバランスを崩して転倒し負傷

18日、北アルプス焼岳中尾峠東側で、オーストラリア人男性 A さん 25 歳が、下山中に浮き石で足首を捻り、左足首捻挫の軽傷を負う山岳遭難が発生し、県警へリで救助しました。



遭難現場の状況

山岳安全対策課からのワンポイントアドバイス

これから11月に向けて県内の標高の高い山域では、天候によってはまとまった降雪があり、またほとんどの山小屋が今シーズンの営業を終えて閉鎖となります。

夏山と同じ感覚で入山することのないよう、事前に下調べを入念に行い、登山計画を立てましょう。

内容は長野県警察本部の発表時点のものです。

* 本通信に関する質問・意見は「長野県観光部山岳高原観光課」mt-tourism@pref.nagano.lg.jp までお寄せください。

＝発行：長野県山岳遭難防止対策協会＝